

講義名	対2)経営情報システム論(経済学部)			授業形態	
担当教員	保田 洋	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

企業の競争優位を実現するために、情報技術の活用はその有効な手段となる。授業では、基幹系の経営情報システムを中心にその機能と構造を解説する。

到達目標

1. 経営情報システムは理論的にどのような構造となるのかを説明できるようになる。
2. 現在企業組織における人間・コンピュータによる情報システムの利活用について説明できるようになる。

提出課題

講義の中で提示する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

講義の中でフィードバックする。

評価の基準

授業内での小テスト(2回:50%)と課題(毎回15回:50%)で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

評価方法や授業の内容は初回の授業で説明するため、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業計画

1. 企業における情報化の課題
2. 経営情報システムとは
3. 情報化社会
4. 経営情報システムの発展
5. 組織におけるデータ利用
6. 組織の情報処理
7. 情報システムのセキュリティ
8. 情報システムにおける倫理的・社会的問題
9. 情報通信インフラと新しい技術
10. データベースと情報管理
11. デジタル時代における情報システムの利活用
12. 電子商取引とインターネット
13. 知識経営と活劇
14. 情報システムと意思決定
15. まとめと演習

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前学習として、事前に次回行う内容を熟読するのでキーワードと思われる所を調べておくこと(1時間)。毎回課題を出題するので、授業のまとめを行いながら課題に取り組むこと(授業のまとめ2時間、課題に1時間)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を受講することで、情報システムの仕組みを理解し、これをもとに、経済にまつわる情報の分析、社会のさまざまな問題に対して情報技術を用いた解決策の提案ができるようになること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
現場での具体的な事例について解説する。

備考

オンデマンド講義に移行した場合は、授業のコンテンツや資料などについては、別途メールなどでアナウンスする。